

日本原子力学会核燃料部会

平成16年第4回運営委員会議事録

日時 : 平成16年12月10日(金)10:30~12:30

場所 : 日本原子力学会 会議室

出席者 : (順不同 敬称略)

山脇部会長、森副部会長、安部田委員、伊東委員、木下委員、大澤委員、木原委員、萩委員、林委員、更田委員、藤田(千)委員、藤田(元)委員、三島殿(米田委員代理)、和田委員

議事

1. 前回議事録確認

大澤委員より前回議事録及び総会議事録が報告され、誤記訂正の後、本運営委員会にて承認された。

2. 水炉燃料専門家会議(2005年)開催について

木下委員から資料2にて編集委員・プログラム委員合同幹事会(12月9日)で決まった内容が報告された。

- ・アブストラクトは12月5日の〆切時点で55件投稿されている。アブストラクトの提出期限を1月10日まで延長した。
- ・今の時点で70件程度は集まる見込みである。12月7日時点で63件確保KAERIが12件、三菱6件、NFI6件、WH4件、GNF3件等である。プログラム委員に大学の先生が多いが、京都、九州大学以外の投稿が少ないため、大学関係者にも働きかけが必要。
- ・基調講演5件、オーラル発表35件、ポスター発表40~60件を想定し、ポスターはオーラルと同等であるという考えで、ディスカッション主体の特徴を出す。
- ・基調講演は、日本(JNES上村氏)、米国、欧州(Vitanza氏)、韓国、中国の5件を予定している。
- ・TRAC2には、伊東委員、小林委員が追加となり、TRAC6には木下委員が追加となった。

3. 学会春の年会での合同セミナーについて

森副部会長から資料3にて報告された。

- ・実施日は2004年3月29日13:00~17:30となった。核燃料部会の持ち時間は90分で、セミナーのテーマの一つに“エロージョン”を挙げる事が韓国側より提案された。
- ・日本側の講演題目は「核燃料研究開発の動向」として、ペレットと被覆管についての開発動向を紹介する。ペレットについては木下委員が担当し、被覆管については森副部会長が山中委員に依頼することとした。
- ・プロシーディング(3万円程度)は、今回も作成することで了承された。

4. 平成17年度夏期セミナーについて

安部田委員から資料4にて報告された。

- ・部会報に記載する予定の夏期セミナー紹介ページには、山形で行うことのアピールを追加することを検討することとなった。
- ・セッションはオンサイト検査技術、ホットセル技術等、現場の技術的なものが多いので、基礎技術に関するセッションを入れることを検討することとなった。

5. 部会HPIについて

木原委員から資料5にて報告された。

前回(平成16年9月16日)以降の改訂内容は次の通り。

- ・運営委員会議事録を更新:10/6更新

- ・運営委員会名簿(和・英)を更新:10/6更新
- ・[お知らせ]「第3回日中物質・材料・分子設計シンポジウム」案内を追加::10/25更新
- ・[過去のお知らせ]ページを追加:12/6更新 等

また、部会報原稿案(部会HPの公開とメーリングリスト・掲示板の案内)が紹介され了承された。

今後の予定は次の通り。

- ・H16年第3回核燃料部会運営委員会議事録の更新
- ・日韓合同夏期セミナー及び次回夏期セミナーのHPへの掲載
- ・メーリングリストへの部会員登録

6. 学会誌への連載講座について

森副部長から資料6にて報告された。

・最終号についてもコメント対応済で、編集委員会へ送付済。従って、9回、10回分の編集委員会からのコメント待ちの状態となっている。

7. 部会報について

菫委員から資料7にて報告された。

- ・新規掲載案として、「会員消息」の項を追加することが提案され承認された。これは会員の出版・受賞等の消息を紹介するもので、編集者が聴取した取材記事として掲載するものとなる。
- ・年内には印刷に送り、発行は1月末から2月初めとなる予定。
- ・部会報にも会員連絡のアンケート調査の案内を載せることを検討することとなった。

8. 部会員への連絡方法について

大澤委員より資料8にて報告された。

- ・学会誌に連絡事項をタイムリーに載せることとし、個々の部会員への連絡手段は、基本的には核燃料部会メーリングリスト及びHPへの掲載によることとなった。
- ・メールアドレスが学会に登録されていない会員に対しては、庶務幹事が往復はがきにて連絡(FAX、郵便)の可否を確認することとなった。

9. その他

大澤委員より核燃料部会 平成16年度実績予想及び平成17年度予算案(資料9-1)、部会員の推移(資料9-2)、委員名簿(資料9-3, 4)が報告された。

- ・平成16年度の収入は、日中韓プロシーディング2冊売れて、2,000円追加となった。
- ・平成17年度予算案が紹介され、承認された。平成16年度予算を基準に作成しているが、会報印刷費は前年度実績を考慮して200,000円としている。講師謝金、旅費は特別予算が削減されたことを考慮して130,000円としている。
- ・会員数の推移は平成16年9月10日現在で389名である。

山脇部会長より、次期副部会長に山本 有紀氏(GNF—J理事)となることが紹介され、承認された。

今後の予定

- ・平成16年第5回運営委員会と会員総会は3月30日(水)を予定。
(平成17年3月29日(火)~31日(木)春の年会時:於、東海大学)

以上

過去の運営委員会議事録の一覧はこちらです。

[過去の運営委員会議事録一覧](#)

[もどる](#)